



平成22年8月16日

エスカレーター利用時のサンダル等の挟まれ事故について  
～子どものビニール樹脂製のサンダルなどの挟まれにご注意を！～

7月31日に練馬区内のデパートにおいて、5歳女児が2階から3階への上りエスカレーターの途中で、履いていたビニール樹脂製のサンダルが挟まれる事故が発生しました。

東京消防庁管内では、平成17年4月から平成22年7月30日までの間に、エスカレーター利用時に、サンダルや長靴などを挟まれる事故により、12歳以下の子ども20人が医療機関に救急搬送されています。

事故発生時には、保護者も一緒にエスカレーターに乗っている場合がほとんどで、特に、樹脂製のサンダルなどを履いた子どもをエスカレーターに乗せるときには、保護者は「黄色い線の内側に立たせる」などの注意が必要です。

- 1 種類別では、長靴が8人（40%）、サンダルが7人（35%）とビニール樹脂製やゴム製の履き物が挟まれやすく、特にサンダルは6月から8月までの3か月間に集中して発生しています。
- 2 年齢別では、3歳から5歳までの受傷者が15人で、事故全体の75%を占めています。
- 3 不明を除くと全ての事故発生時に保護者が同乗しています。
- 4 発生場所別では、「駅」でのサンダル等の挟まれ事故が最も多く（9人、45%）、「デパート等」がこれに続き（8人、40%）、この2か所で事故全体の85%を占めています。

○ #7119を利用しよう！

病院へ行った方がいいのか、又は、救急車を呼んだ方がいいのか、判断に迷った場合には「東京消防庁救急相談センター（#7119）」へご相談下さい。

詳細は、別紙資料をご覧ください。

東京消防庁では、子どものサンダル等の挟まれに係る救急事故の発生状況を注視し、注意を促すなど、都民の安全確保に努めてまいります。

問い合わせ先

東京消防庁（代） 電話 3212 - 2111  
生活安全課生活安全係 内線 4206  
広報課報道係 内線 2345～2349

## エスカレーター利用時のサンダル等の挟まれに係る救急事故の発生状況

東京消防庁管内では、平成17年4月1日から平成22年7月30日までの間に、12歳以下の子どものエスカレーター利用時におけるサンダルや長靴などの挟まれ事故により、20人が医療機関に救急搬送されています。

### 1 年別発生状況

年	人数
平成17年	2
平成18年	0
平成19年	9
平成20年	6
平成21年	2
平成22年	1
合計	20

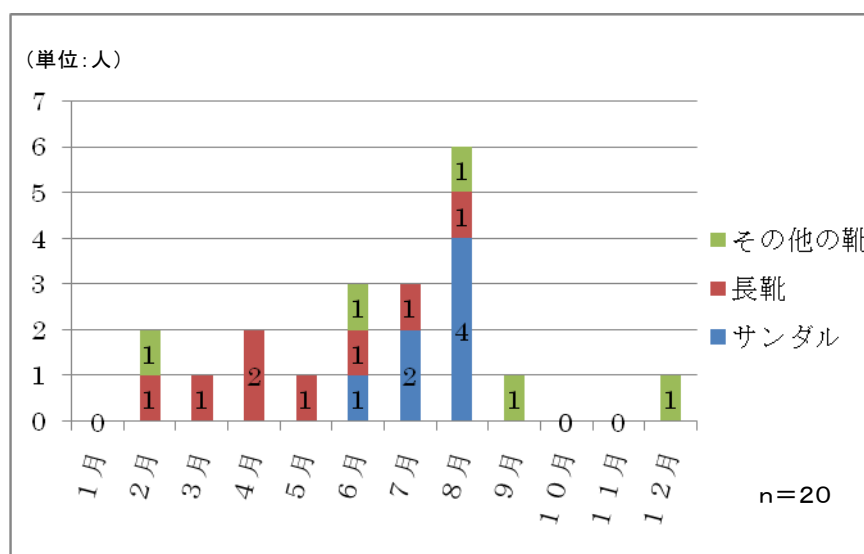
※ 受傷者20人の初診時程度は、全員軽症（入院の必要がないもの）

※ 平成17年は、4月1日から12月31日までの発生状況

平成22年は、速報値で1月1日から7月30日までの発生状況

### 2 月別種類別発生状況

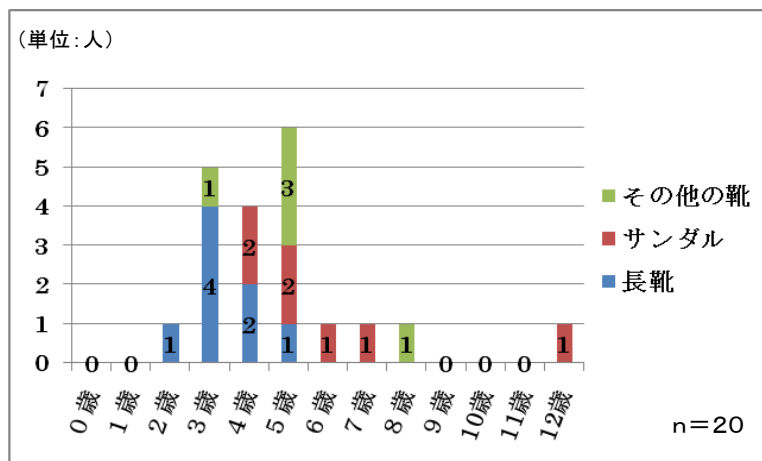
月別では、8月が突出して多く、特にサンダルの挟まれによる受傷者は、6月から8月までの3か月間に集中して発生しています。



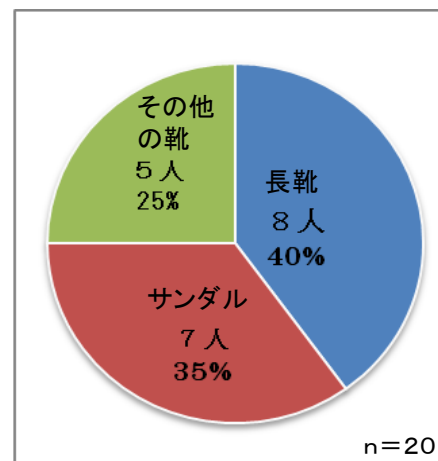
月別種類別発生状況

### 3 種類別年齢別発生状況

年齢別では、3歳から5歳までの受傷者が15人で、事故全体の75%を占めています。履き物の種類別では、長靴が8人（40%）、サンダルが7人（35%）で、この2種類で事故全体の75%を占めています。



種類別年齢別発生状況

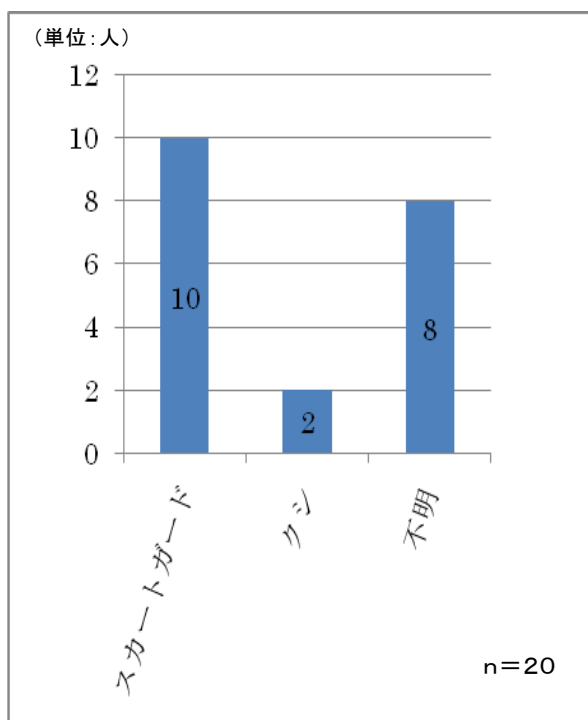


種類別発生状況

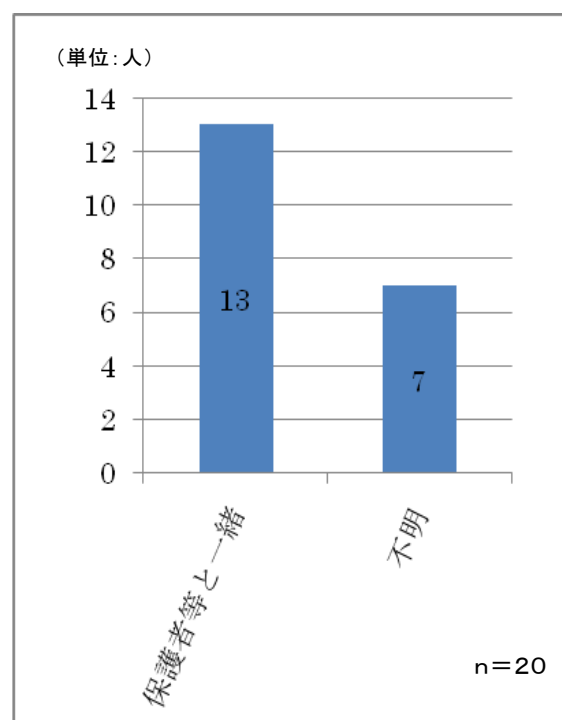
### 4 挟まれ場所と保護者等の在不在の状況

挟まれ場所別では、スカートガード（側面）とステップの隙間での受傷者が10人で、不明を除くと約83%を占めています。

保護者等の在不在別では、不明を除くと全ての事故発生時に保護者等が同乗しています。



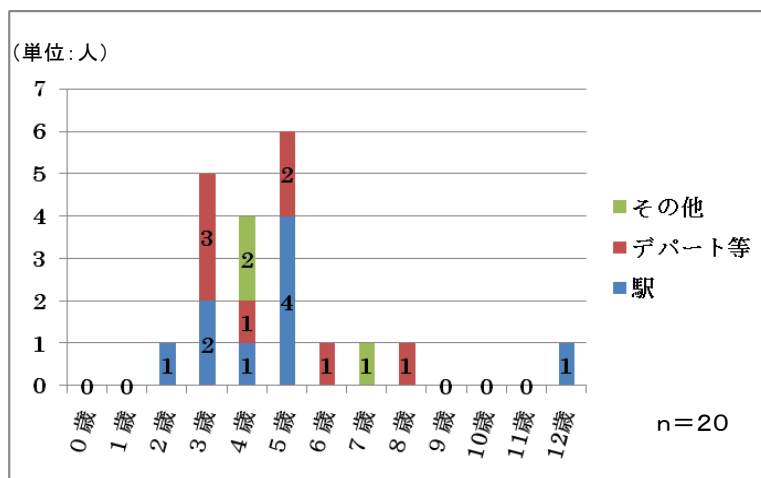
挟まれ場所別発生状況



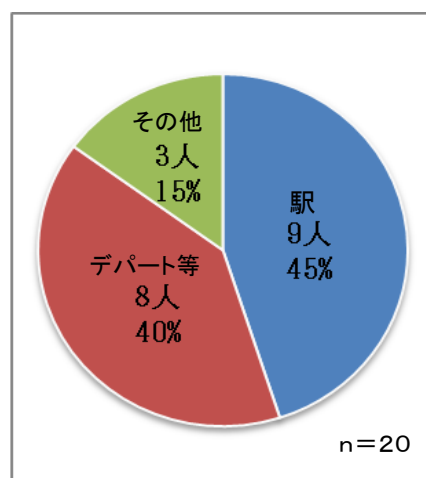
保護者等の在不在別発生状況

## 5 発生場所別年齢別発生状況

発生場所別では、「駅」での事故が9人（45%）と最も多く、「デパート等」が8人（40%）でこれに続き、この2か所で事故全体の85%を占めています。



発生場所別年齢別発生状況



発生場所別発生状況

## 6 主な救急事事故事例

- (1) 平成20年4月、3歳女児が母親と一緒に、スーパーの1階から地下1階への下りエスカレーターに乗っていたところ、履いていた長靴がエスカレーターのスカートガード（側面）とステップとの隙間に挟まり、左足を受傷したもの（軽症）。
- (2) 平成20年3月、2歳女児が母親と一緒に、駅のホームへ向かう下りエスカレーターに乗っていたところ、右側を追い越す客がいたため左側に寄った際に、履いていた長靴がエスカレーターのスカートガード（側面）とステップとの隙間に挟まり、左足の指を受傷したもの（軽症）。
- (3) 平成20年2月、4歳男児がデパートの下りエスカレーターに乗り、3階から2階へ降りていたところ、履いていた長靴の足首部分がエスカレーターのスカートガード（側面）とステップとの隙間に挟まり、左足を受傷したもの（軽症）。
- (4) 平成19年8月、5歳女児が両親と一緒に、駅のホームへ向かう上りエスカレーターに乗っていたところ、履いていたサンダルがエスカレーターのスカートガード（側面）とステップとの隙間に挟まり、左足の指を受傷したもの（軽症）。
- (5) 平成19年7月、4歳男児が家族と一緒に、駅の改札からホームに向かう下りエスカレーターの左側の移動手すりに両手で掴まっていたところ、履いていたサンダルがエスカレーターのスカートガード（側面）とステップとの隙間に挟まり、右足を受傷したもの（軽症）。



【挟まれたサンダルの写真】



【サンダルが挟まれた位置の写真】

※写真の白線に囲まれた位置には、エスカレーターのスカートガード（側面）にサンダルの引きずられた跡がある

## 7 エスカレーター利用時の事故防止のポイント

- (1) ビニール樹脂製のサンダルやゴム製の長靴などは、摩擦によりエスカレーターのスカートガード（側面）とステップとの隙間に巻き込まれやすいことから、保護者は子どもを必ず黄色い線の内側に立たせるように注意を払う。
- (2) 履き物の挟まれ事故以外の子どもの事故も多く発生しており、手すりからの墜落やエスカレーター周辺で遊んでいて、手すりの引き込み口（インレットガード）に指を挟まれるなど重大な事故となっていることから、保護者は子どもにエスカレーターに乗るときは顔や手を乗り出したりしないことやエスカレーター周辺では遊ばないように教え、その危険性を十分に理解させる。

エスカレーター利用時の注意事項（（社）日本エレベータ協会ホームページより抜粋）

- ① 移動手すりには必ずつかまる。
- ② 必ず黄色い線の内側に立つ。
- ③ 歩いたり走ったりしない。
- ④ 顔や手を乗り出したりしない。
- ⑤ エスカレーターの側面には、絶対によりかからない。

東京消防庁  
救急相談センター #7119 〔携帯電話・PHS〕  
プッシュ回線

24時間年中無休

救急相談・医療機関案内

その他の電話やつながらない場合は

03-3212-2323(23区)

042-521-2323(多摩地区)

急な病気やケガをした場合に、「救急車を呼んだほうがいいのかな？」  
「今すぐ病院に行った方がいいのかな？」など迷った際の相談窓口として、  
「東京消防庁救急相談センター」を開設しています。